

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 東久留米教室

保護者等数(児童数)30名 回収数 23名 割合 76 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	2			建物小さめですが、頻繁に外へ遊びに連れ出してくださいとありがたいです。もう少し広いお部屋があれば最高です。子ども達が伸び伸びと活動して楽しそうだと感じます。	今後も安全に過ごせる環境で過ごせるようにしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1			いつもいろいろな活動からアプローチして下さっており、ありがとうございます。配置数に関しては適切なのかは分かりませんが、先生や補助スタッフの方がしっかりついてくださっていると思います。職員の皆さんは、皆さんとても素晴らしい方ばかりだと感じています。子供の課題に対してしっかりと向き合っており、レポートからも毎回丁寧に接して下さっていることが伝わってきます。	お子さまの特性に向き合い、日々、楽しく活動できるようにしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	1			目で見てもわかるようなことでも対応していただいております。視覚的な情報の伝達を取り入れたり工夫していただいている。そこまでの配慮があるのかを把握していません。	お子さまの特性に合った環境整備を今後もしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	1			アレルギー体質なのでカビか、ほこりに反応してしまうようです。家でも課題です...見学した際にはおもちゃなど適切に片付けており、子供が勝手に取り出したりできないように配慮されていたように感じる。清潔で、過ごしやすい環境の施設だと思います。お部屋は、子供が活動に集中できるように、余計なものを置かず、シンプルで清潔な空間になっていると思います。	清潔に過ごせるように今後も注意していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23				きちんとお話を聞いていただき、フィードバックもしていただきありがとうございます。目標に向かいやすい気がします。電話での面談や、必要であればメールなどで情報共有し、我が子に合った計画を立てていただいております。いつもお話を聞いていただきありがとうございます。支援計画の面談がないことに驚いたが、最初の面談でお伝えした要望を汲んで計画を立てていただいているので全く問題ない。丁寧に面談をして下さったうえで、保護者と一緒に支援計画を考えて頂いていると思います。	今後も、保護者さまと共に、お子さまの成長に携わらせていただけたらと思います。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	1			意見をよく聞いてくださり、それを具体化してくださると感じます。	保護者さまのご意見をお聞きしながら、一緒に考えていきたいと思っております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23				日々いろいろな活動をしていただいております。なかなか家庭ではやりきれないので、ありがとうございます。いつも色々な内容のプログラムを考え実施していただいております。季節ごとの行事を取り入れて下さって本人も楽しんでます。すぐ工夫されると思います。毎週様々な活動をしていただき、本人もとても楽しんでいる様子で大変有難い。いつも様々な活動をして下さっています。活動記録で息子の成長に気づかされたことが何回もあり、本当に感謝でいっぱい。工夫された様々な活動で、毎日楽しく通わせていただいております。同じ活動を繰り返すときもねらいをもってプログラムに組み込んでいるのが記録からわかるので、安心してお任せします。	お子さまがまずは楽しく活動できるよう、その中でお子さまの成長を促せる内容となるよう、今後も考えていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	9	9		前回、保護者だけの交流会でしたが親子遠足など他のお子さんとの交流の機会があればいいなとおもいました。同じ特性、同じ障害の子をみる機会はないかなとおもうので。特に交流のある印象はありません。健常児との交流の機会はないかなとおもいますが、それを本施設に求めていないため問題ない。コロナが8月に移行して制限は厳しくなっていますが、積極的な交流となると相手のあることなのでまだまだ難しいかなと思います。夏休みに放課後デイのお兄さんお姉さんとの遊戯会を設けていただいたのはよい経験になりました。	地域の児童館や消防署見学など、地域に積極的に出ること、いろいろな経験と交流が持てるように今後も工夫していきます。なお、親子リトミックを冬に開催予定です。
10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23						
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22	1			丁寧に説明いただき、お互いの考えや思いなども確認していると思う。	面談だけではなく、日々のコミュニケーションも十分にとっていきたくと思っています。	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	12	1	<p>トレーニングを受けるという機会はありませんが、家での対応について質問すると明確に返答して下さいます。</p> <p>コロナもあり、なかなか開催自体が難しいと思いますが、困ったことがあればすぐに電話やメールで先生と連絡がいき、解決できる状態であるという事が私にとってはありがたい支援の一つです。</p> <p>先日は保護者会の開催ありがとうございました。</p> <p>似たような特性の方との勉強会や交流会があればぜひ参加したい</p> <p>直接的なペアレントトレーニングはなくても、日々のレポートから、先生方がどのように子供に声掛けしているか等が分かり、勉強になって</p>	講習会という形では難しいが、日々のコミュニケーションの中からお伝えしていきたいと思っています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1	<p>トレーニングを受けるという機会はありませんが、家での対応について質問すると明確に返答して下さいます。</p> <p>コロナもあり、なかなか開催自体が難しいと思いますが、困ったことがあればすぐに電話やメールで先生と連絡がいき、解決できる状態であるという事が私にとってはありがたい支援の一つです。</p> <p>先日は保護者会の開催ありがとうございました。</p> <p>似たような特性の方との勉強会や交流会があればぜひ参加したい</p> <p>直接的なペアレントトレーニングはなくても、日々のレポートから、先生方がどのように子供に声掛けしているか等が分かり、勉強になって</p>	お電話やHugでのメールのやり取りを通して、今後も保護者さまとお子さまのことに向き合っていきたいと思っています。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2	<p>日々の報告でもいろいろ記載いただき、こちらも安心してお願いできますし、こちらの様子もお伝えしやすい雰囲気があると思う。</p>	半年に一度の個別支援計画の見直しの面談だけではなく、今後もご依頼がありましたらいつでもご相談に応じていきます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	8	2	<p>できればもう少し回数があってもいい気はしますが、とりあえずあることが助かると思う。</p> <p>毎日忙しい業務のなか、先日は保護者の交流会が開催され、とても感謝しています。とても有意義な時間だったので、ぜひ定期開催されればいいなとも思います。なので今後の開催希望もあり、【いいえ】にさせていただきました。</p> <p>前半の野村さんからの説明もとても参考になりました。なにかテーマがあり、それについて話し合う、みたいに簡単な内容での交流会など検討していただければとおもいます。</p> <p>コロナ禍だった為か、この1年では1回だけでした。</p> <p>参加はしていないが開催されているのは理解している。</p> <p>実施されている事は知っていますが、私の子供が通園してから日が浅く、内容や頻度を知らないのと2しました。</p> <p>自発のみならず放デイの方の保護者さんとの交流会などあれば、進路の選び方や習い事の事など伺ってみたいです。</p>	保護者会というだけではなく、親子で楽しめる取り組みなどを通して、今後も交流できる場を提供していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	3	<p>まだ相談をしたことはないが、アプリなどでいつでも連絡ができるようになっていたため、相談しやすい環境にはなっていると感じる。</p>	Hugというツールを便利に使っていただいて、気軽に話ができる関係性を大切にしていきたいと思っています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	1	<p>必要な情報はアプリで配信していただいているので便利。</p>	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	1			
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	7	1	<p>特に説明がされているわけではない。気になっているのは、バスの送迎があるので、方が一バスでの取り残しが起きた場合の対応を子供に伝えて欲しいです。</p> <p>本人からたまに避難訓練したと聞いてます。災害時の避難先や引き渡し方法(即時送迎なのか、保護者が迎えに行くのか)などは事前に確認しておきたいです。</p>
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	10		<p>把握していません。</p> <p>入園して日が浅く、分かりません。</p>	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23			<p>朝お迎えが来ると、駆け足で玄関まで行くので、楽しんでるのだなと実感している。</p> <p>朝のお迎えの電話がなると、ささっと準備するくらい行くのを楽しみにしています。</p> <p>毎週とても楽しんで帰ってくるため大変有り難く感じている。</p> <p>もっと行きたい、キャンセル待ちの日を増やして欲しいと書かれています。</p> <p>本日に毎週楽しみにしています。行くよと声をかけると自らリュックを背負って、すぐにドアの前に行きます。</p> <p>子供はこぼんが大好きで毎回本当に楽しみにしています。</p>	これからも楽しく通っていただけるようにしていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	23			<p>本人も楽しみながら取り組んでるようで、こちらも日々の報告からいろいろのことを学んで、少しずつ身に付けてる感じもするので、ありがたいと思う。</p> <p>職員さん方の負担がないように運営していただけたらと思います。</p> <p>室内や屋外など様々な活動をしていただけることや、自宅まで送迎していただけることが本当に有難い。特に現在乳児を抱えているため、送迎していただけることで大変助かっている。</p> <p>小さな「出来た」を増やせるよう、じっくり取り組んで頂いてとても感謝しています。</p> <p>自分だけだと育児がしんどくなってしまった時に出会いました。こぼんに通うようになってから私の心も余裕ができて、息子にも穏やかに関われるようになりました。いつもありがとうございます。</p> <p>こぼんに通い始めてから、親子共にたくさん助けて頂き、笑顔が増えました。いつも本当にあ</p>	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 こばんはうすくら 東久留米教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15	2	放課後等サービスの教室が使用できる日は使用している。活動を分けて、同じ時間帯に児童が少なくなくて済むようにしている。	今後も、活動を分けて、他の教室や廊下は居場所を作ったりしながら、活動が生き生きとできるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	11	6	指導員の急な体調不良や私事都合でのお休みの場合、厳しい日があります。その際は、管理員や放課後等サービスの職員に手伝ってもらいながら活動しています。	体調管理をしっかりしながら、なるべく急な休みがないようにしていくことと、土日祝日勤務可能な職員の求人継続していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	6	建物の構造上改善できない部分は、指導員の声かけやケガに繋がらないように工夫をしています。	建物自体の構造上改善できない部分は、指導員の声かけや、視覚的に児童にわかりやすく環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	15	2	毎日消毒と清掃はしっかり行っているが、児童の特性上、直してもすぐに児童が壁紙などをはがしてしまうため、簡単にはがせないようにしています。クレーターの清掃は節目節目に清掃するようにしています。	壁紙がどうしても気になって、直してもすぐにはがしてしまう特徴の児童がいるので、剥がれない素材を考え中です。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	6	児童が終わってすぐに放課後等サービスが開始されるので時間で勤務が終わる非常勤職員は、終わってからの話し合いができないので、日々のコミュニケーションができるようにしています。また、インターネットのサイトを通して、児童への活動記録が共有できるようにしています。	勤務が終わってからの振り返りが事業所の特性上どうしても持てないので、始める前に打ち合わせができるように、送迎を工夫して待つように改善します。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16	1	非常勤職員にも、インターネットのサイトで保護者とのやり取りを見てもらえるように工夫しています。	勤務が始まる前に情報共有できるように改善します。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	7	非常勤職員との共有ができていないので、コミュニケーションの中で伝えています。	事業に関しては、あまり非常勤職員には伝えていないので、なるべく伝えることで事業所全体の運営についても一緒に考えられるように改善していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	9	非常勤職員にも口頭で伝えています。	短時間の勤務の非常勤職員にも伝わるように改善していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	7	研修の機会を作っても、家庭の都合で参加できない非常勤が多いので、児童の情報をその都度伝えています。	いろいろな時間帯で開催したこともありましたが、参加できない非常勤が多いので、出勤日の朝に児童の特性を伝えながら、療育に関する伝え時間を持つように改善します。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15	2	日々のコミュニケーションの中で情報共有を行っています。	今後勤務日の朝に情報共有する時間が持てるように改善していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	4		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	4	非常勤職員にもガイドラインを配布しながら、目を通すように工夫しています。	具体的に伝えていけるように改善していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	3		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	15	2		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	3		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	3	支援計画は勤務中は閲覧できるようになっていることと、インターネットのサイトでも閲覧できるようにしている。	時間に制限のある非常勤職員にも閲覧できる時間が持てるように改善していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15	2		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	5		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	2		
関係機関や保護者との連携	20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15	2		
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	2		
	22 母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	3	常勤職員と児発管単位では連携を行っています。	必要に応じて連絡をとったりしているので、情報が共有できるように改善していきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	5		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	8		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	11	非常勤職員や療育に携わる指導員には事業所の特性上、難しいので、情報共有ができるようにしています。	常勤職員には機会を見て参加できる改善していきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	16	地域の児童館や公園で遊ぶことで、交流ができるように工夫しています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	13		
保護者への説明責任等	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	2		
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	7	10		
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	4		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	4	個別支援計画は保護者との面談しながら作成しています。非常勤職員にも閲覧できるように工夫しています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	3		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14	3		

	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	3		
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	8	紙ベースでの発行はしていないが、インターネットのサイトやSNSを通して情報発信をしています。	
	個人情報の取扱いに十分注意している	16	1		
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16	1		
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	13		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	5	マニュアルを職員が閲覧できる場所に配置して、目に入るように工夫しています。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	8	事業所の形態や児童の特性上、大掛かりな訓練の機会はなかなか持てないが、療育の中で身を守ることについては伝える工夫をしている。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	2		
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	7	アレルギー表を作成し、職員が目につく場所に貼ってあります。	
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	16	1	ヒヤリハットに該当する事案が発生した場合は、閲覧できる場所に掲示しています。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15	2		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	8	身体拘束が必要な児童はいないため、必要があれば保護者と話し合いをしながら事業所全体で考えていきます。	